

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	19,002	170,418	△ 151,416
普通預金	4,921,530	3,616,639	1,304,891
流動資産合計	4,940,532	3,787,057	1,153,475
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	4,245,000	5,123,500	△ 878,500
創立50周年記念事業積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	8,245,000	9,123,500	△ 878,500
(2) その他固定資産			
定期預金	4,051,957	4,051,957	0
差入入居保証金	1,511,250	1,511,250	0
その他固定資産合計	5,563,207	5,563,207	0
固定資産合計	13,808,207	14,686,707	△ 878,500
資産合計	18,748,739	18,473,764	274,975
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
1. 固定負債			
退職給付引当金	4,245,000	5,123,500	△ 878,500
固定負債合計	4,245,000	5,123,500	△ 878,500
負債合計	4,245,000	5,123,500	△ 878,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産	14,503,739	13,350,264	1,153,475
(うち特定資産への充当額)	(4,000,000)	(4,000,000)	0
正味財産合計	14,503,739	13,350,264	1,153,475
負債及び正味財産合計	18,748,739	18,473,764	274,975

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)退職給付引当金 職員の退職に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額(簡便法)に基づき計上している。
- (2)消費税等の会計処理 税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	5,123,500	141,500	1,020,000	4,245,000
創立50周年記念事業積立預金	4,000,000	0	0	4,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産			
退職給付引当預金	4,245,000	0	4,245,000
創立50周年記念事業積立預金	4,000,000	4,000,000	0

4. 実施事業資産について

実施事業資産はない。